

平成26年度の決算がまとまり、9月には町議会に決算審査特別委員会が設置され、内容が審議されています。

町では、毎年6月と12月に財政状況を公表することになっていますが、今月号では26年度の決算と27年度上半期の予算執行状況をお知らせします。

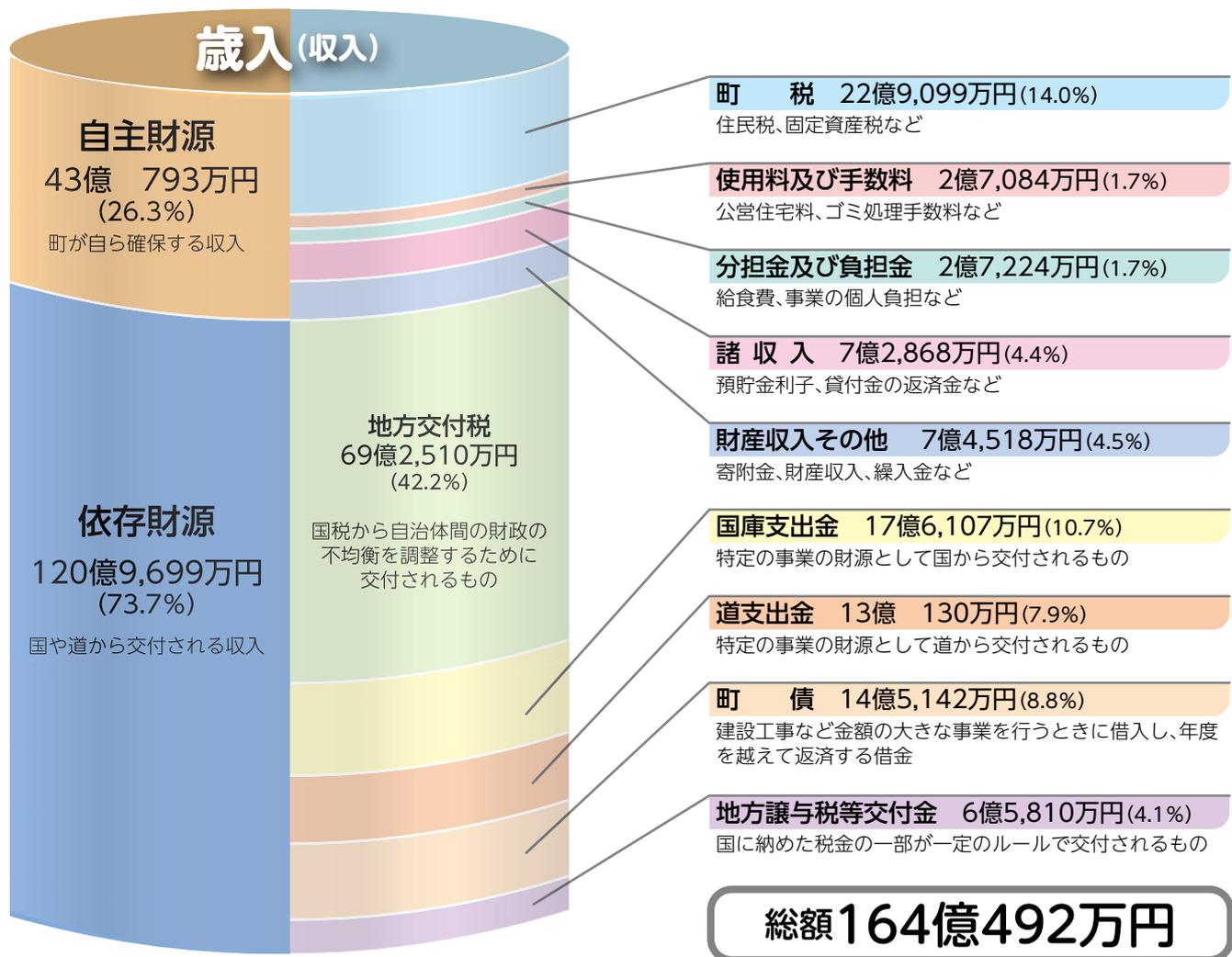
# 私たちの町の 財政状況

## I 平成26年度 一般会計決算状況について

### 歳入決算状況について

町の財政は、皆さんからの税金や各種手数料などの自主財源と、国から交付される地方交付税などの依存財源で成り立っています。自主財源は、歳入全体の26.3%と低く、このうち最も基本的な収入である町税の割合は全体の14.0%となっており、依存財源が歳入の大きな割合を占めています。

依存財源の中でも一番多いのが地方交付税ですが、決算額で69億2,510万円となり前年度と比較して3億9,155万円(5.4%)の減となっています。自由に使えるお金(一般財源)である地方交付税は町の財政に大きな影響があります。



## 財政の状況を表す指標（地方公共団体の財政状況を表す数値です）

**健全化判断比率** 平成19年度決算から導入された新しい指標で、地方公共団体の総合的な財政状況を示す指標です。

- **実質赤字比率** -%（黒字0.77%）  
標準財政規模に対する一般会計の実質収支赤字の割合を示します。
- **連結実質赤字比率** -%（黒字32.06%）  
標準財政規模に対する町の会計全体での実質収支の割合を示します。
- **実質公債費比率** 12.3%  
標準財政規模に対する、借金の返済額（公債費）に加え、公営企業・広域連合・一部事務組合の借金の繰出しを反映させた負担割合を示します。この数値が18%を超えると起債許可団体となり、町債の借入に国の許可が必要となります。
- **将来負担比率** 57.6%  
標準財政規模に対する、将来（翌年度以降）第三セクター等への債務の負担を含めた実質的債務の割合を示します。  
※標準財政規模 96億3,483万円  
標準的な行政活動を行うために必要な経常的な一般財源の総量をいいます。

**財政力指数** 25.6%（過去3ヵ年平均）

標準的な支出に対する標準的な収入の割合を示す指数で、100%に近いほど財政力が高いとされています。100%を上回れば、地方交付税が交付されない不交付団体となります。

**経常収支比率** 84.3%

町税や国・道からの交付金などの経常的収入に対する、人件費や施設管理維持経費などの経常的支出の割合で、この数値が低いほど収入に余裕があり財政上の柔軟性があることを示します。

## 歳出決算状況について

平成26年度は主な事業として、町道・農道の整備、災害用備蓄資材整備、公営住宅整備、消防団拠点施設整備、上西春別中学校防音整備、上春別小学校改修等を行いました。

前年度と比較すると、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業等の減により総務費で5,286千円（3.1%）の減、災害復旧費で6,115万円（99.9%）の減となりましたが、公営住宅整備、除雪経費の増等により土木費で9,634万円（6.4%）、上西春別中学校防音整備、上春別小学校改修等により教育費で5億2,148万円（37.2%）の増となり、総額でも5億7,399万円（3.7%）の増となりました。

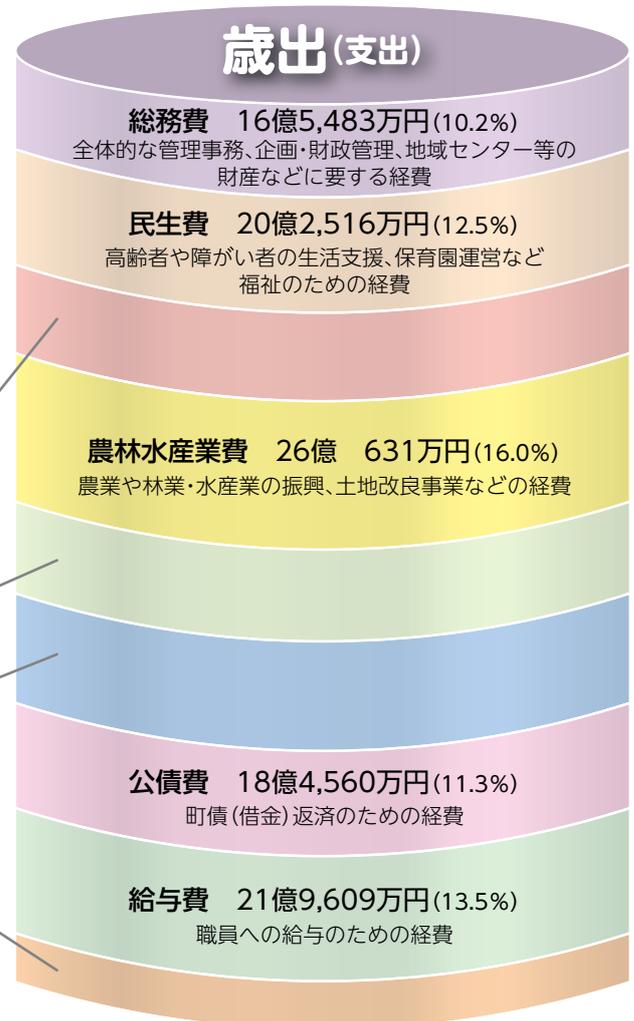
**衛生費** 15億5,286万円(9.6%)  
健康づくり、環境対策、病院事業への繰出金などの経費

**土木費** 16億1,023万円(9.9%)  
道路の整備や、公営住宅などの維持管理経費

**教育費** 19億2,310万円(11.8%)  
小中学校・幼稚園・図書館・公民館・体育館の運営、整備などの経費

**議会費その他** 8億5,700万円(5.2%)  
議会費、商工業の振興及び観光、労働費、災害復旧費、消防費及び防災関係の経費

**総額162億7,118万円**



## Ⅱ 平成26年度 特別会計・企業会計決算状況について

### 特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、そのお金の流れを分かりやすくするために一般会計と区別して法律や条例に基づいて設置します。

会計名	決算額		事業内容
	歳入	歳出	
国民健康保険	25億2,392万円	25億1,945万円	国民健康保険加入者が保険税を負担し合い、医療費を賄う相互扶助の制度です。
下水道事業	6億3,327万円	6億3,323万円	特定環境保全、農業・漁業集落排水の3つの事業により、下水道処理を行っています。
介護サービス事業	4億7,316万円	4億7,296万円	「老人保健施設」「訪問看護ステーション」の2事業所がサービスを提供する事業です。
介護保険	9億1,140万円	8億8,960万円	65歳以上の介護が必要な方と40～64歳で特定の疾病により介護が必要と認められた方がサービスを受けられる制度です。
後期高齢者医療	1億3,987万円	1億3,975万円	75歳以上の高齢者等を対象とする、他の健康保険とは独立した医療保険制度です。

### 企業会計

企業会計は、「独立採算制」を原則とする企業の要素が強い事業を行う場合に法律や条例に基づいて設置します。

会計名	決算額			
病院事業	収益的収入	20億8,957万円	収益的支出	21億3,942万円
	資本的収入	1億1,588万円	資本的支出	1億6,975万円
水道事業	収益的収入	9億9,663万円	収益的支出	7億5,791万円
	資本的収入	757万円	資本的支出	4億2,262万円



※収益的収入・支出…企業の経常的経営活動に伴う収入と支出

※資本的収入・支出…施設等の建設改良に伴う収入と支出

### 平成26年度 特別会計、企業会計への繰出額

繰出とは一般会計と各特別会計、企業会計相互間において支出される経費です。

平成26年度の一般会計からの繰出総額は、17億2,315万円となっています。



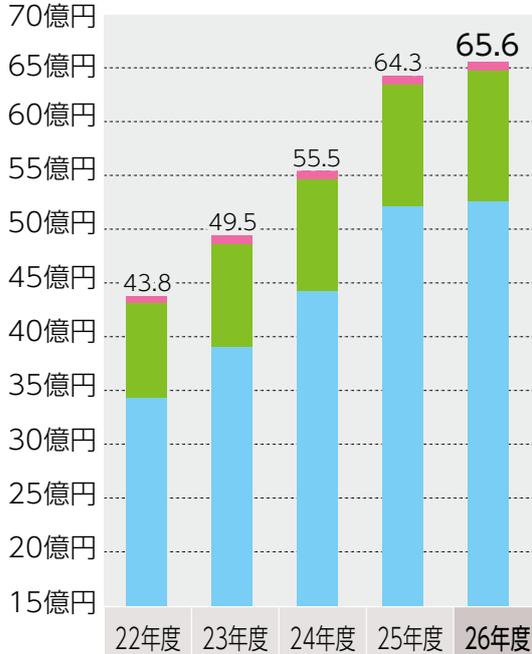
### Ⅲ 基金・町債の状況について

平成26年度末における町の預貯金である基金・積立金の合計額は、65億6,904万円となり前年度と比較し1億4,106万円の増加となっています。

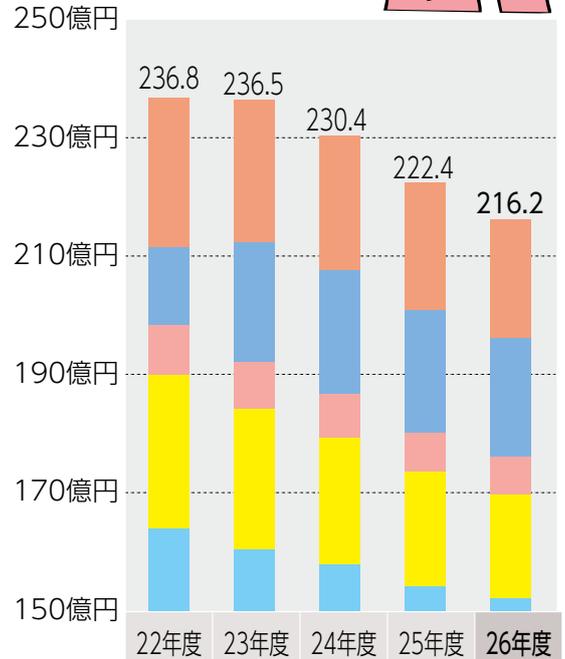
借金である町債は、216億2,671万円となり、前年度と比較し6億1,161万円減少しています。



#### 基金の推移



#### 町債現在高の推移



基金種別	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
介護保険	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8
国民健康保険	0	0	0	0	0
下水道	0	0	0	0	0
水道	8.8	9.6	10.4	11.3	12.1
一般会計	34.4	39.1	44.3	52.2	52.7

町債種別	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
水道	25.4	24.1	22.8	21.5	20.1
病院	13.2	20.4	21.0	20.7	20.1
介護サービス	8.3	7.8	7.3	6.7	6.3
下水道	26.0	23.9	21.5	19.3	17.6
国民健康保険	0	0	0	0	0
一般会計	163.9	160.3	157.8	154.2	152.1

### Ⅳ 一時借入金（一般会計）について

一時借入金とは、会計年度中に支払い現金が不足した場合に、その不足を補うために借りるお金です。一時的な資金不足を補うためのお金なので、その年度の出納閉鎖日である5月31日までに返済することになっています。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年間借入累計額	13億円	13億円	14億円	12億円	14億円
借入残高最高額	13億円	13億円	12億円	12億円	14億円
借入最高限度額※	40億円	40億円	40億円	40億円	40億円
最高借入時期	3月31日	3月31日	3月31日	3月31日	3月31日
3月31日残額	13億円	13億円	12億円	12億円	14億円
5月31日残額	0	0	0	0	0

※借入最高限度額：地方自治法第235条の3第2項により、予算で定められた借入残高額の最高限度額

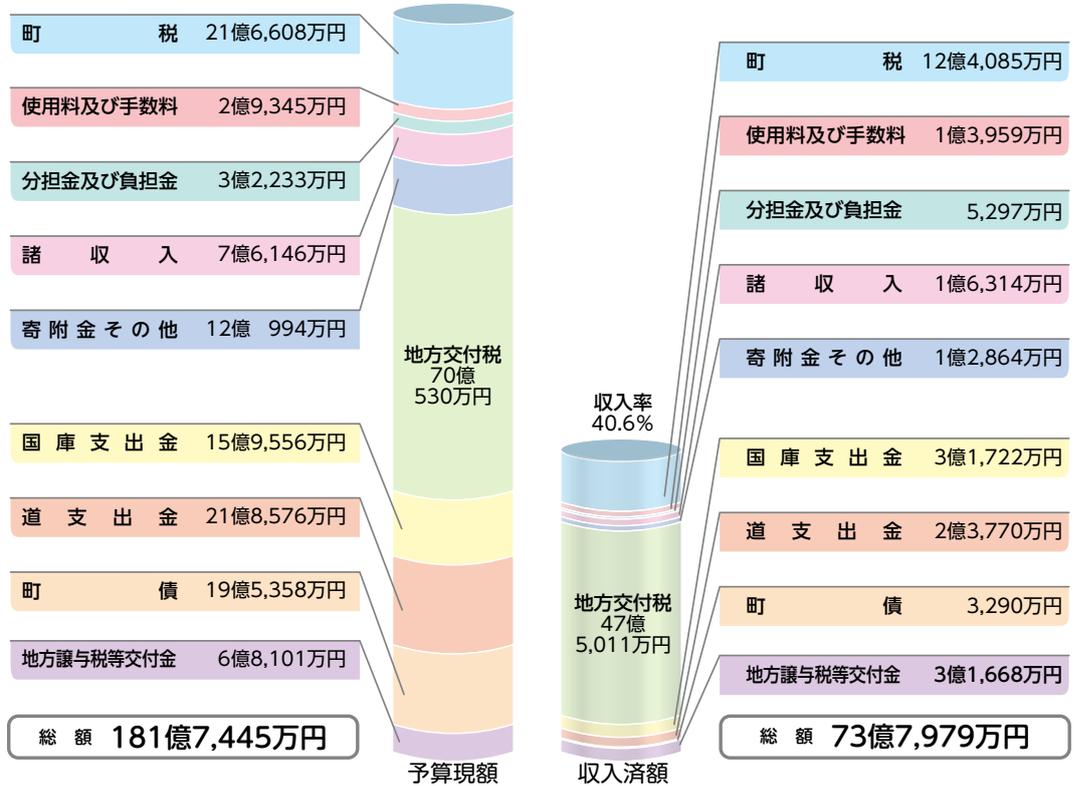
# V 平成27年度 上半期の予算執行状況

## 一般会計の執行状況について

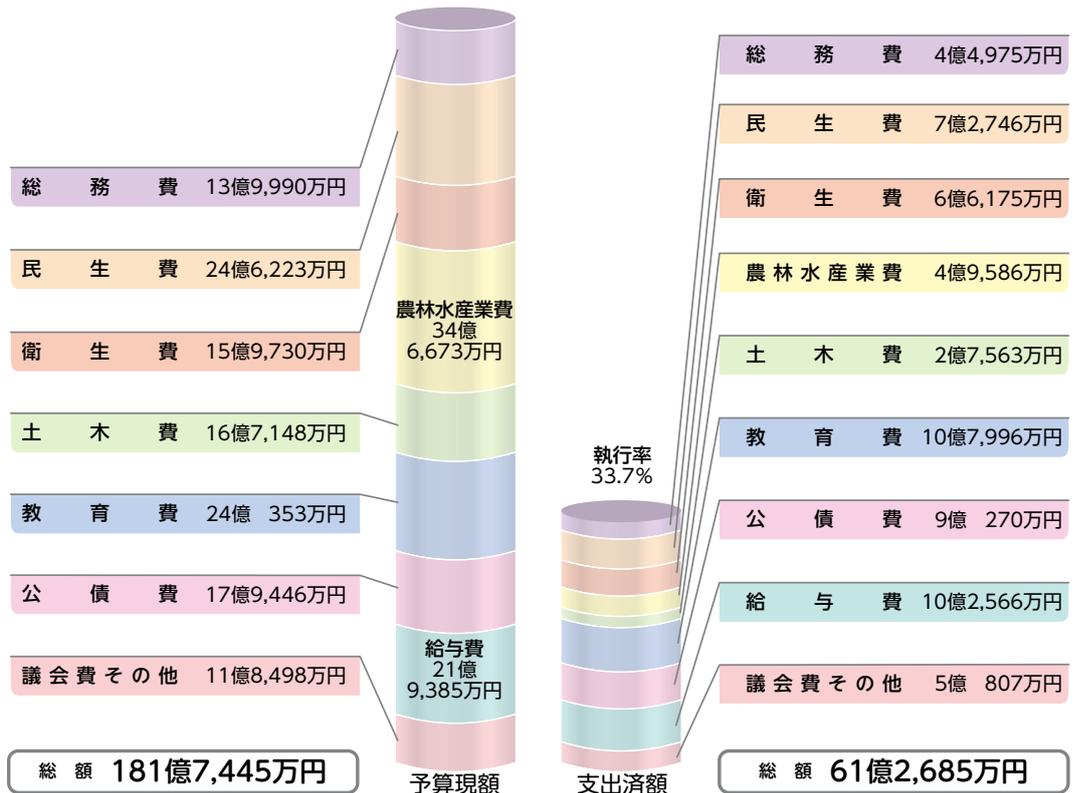
平成27年9月補正後の予算額は、168億5,090万円となり、平成26年度からの繰越額13億2,355万円を加えると、予算総額で181億7,445万円となっています。

平成27年度の主な事業として、町道・農道の整備、中春別中学校耐震改修、上春別中学校防音整備、公営住宅整備、災害時避難施設整備、西春別スケートリンク整備、家畜ふん尿貯留施設整備、地域子ども・子育て支援事業、畜産環境施設整備等を実施しています。

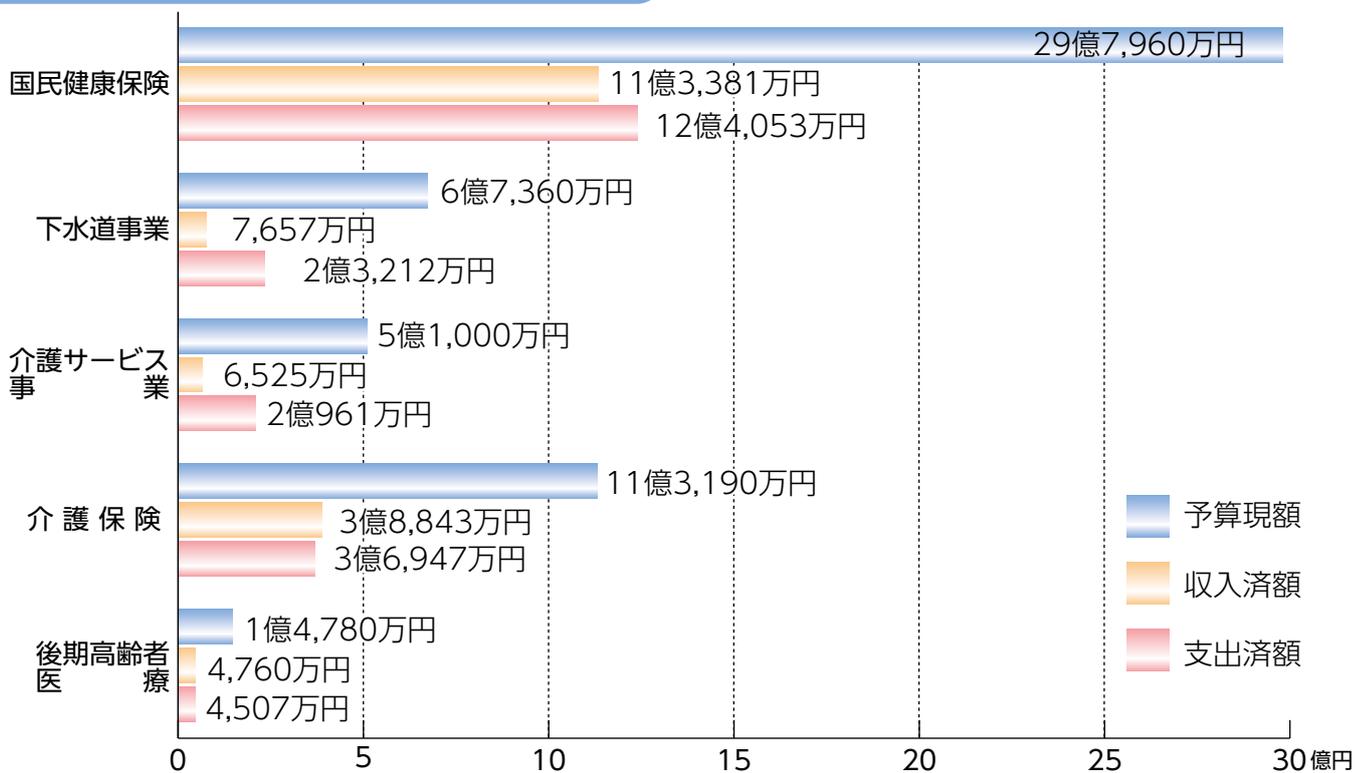
平成27年度  
上半期  
収入状況  
(9月30日現在)



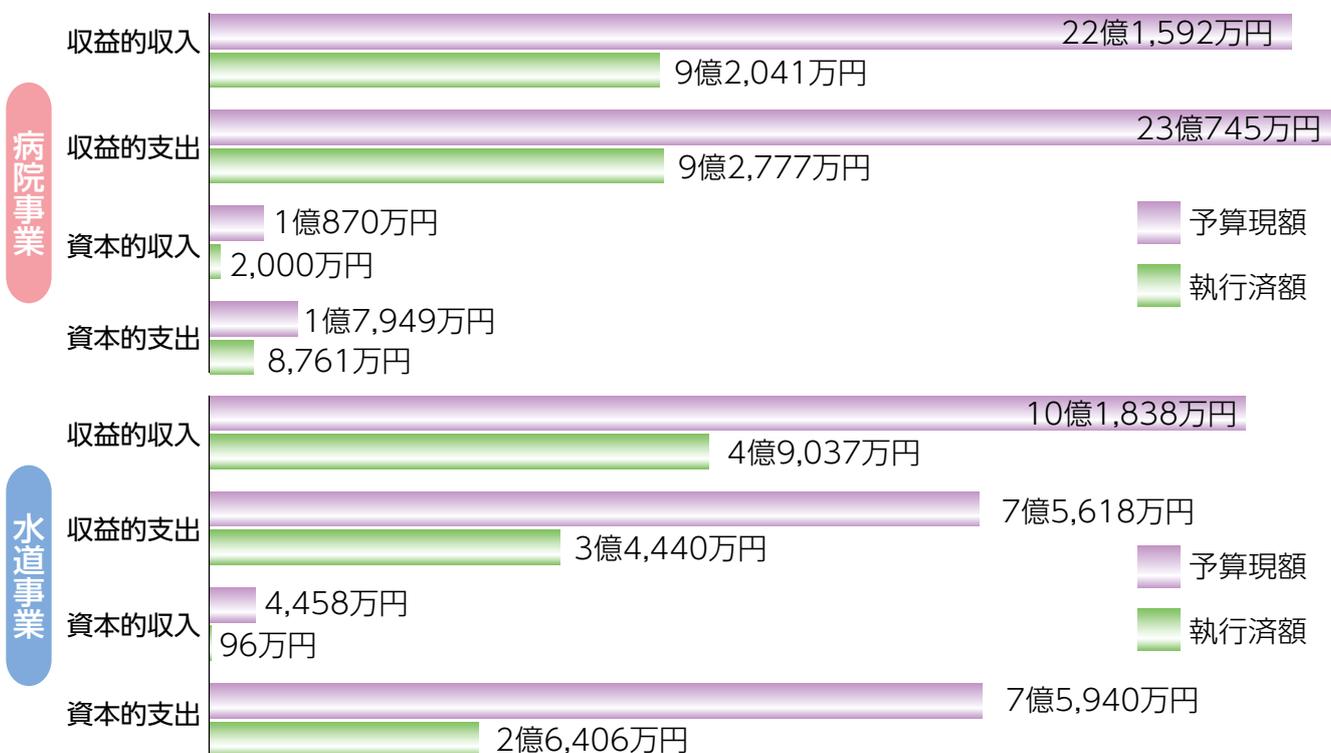
平成27年度  
上半期  
目的別支出状況  
(9月30日現在)



### 各特別会計上半期予算執行状況



### 各企業会計上半期予算執行状況



財政状況の詳細な内容は、町のホームページと財政課（本庁舎2階）で公表しています。  
 問合せ/財政課 財政経理担当TEL75-2111（内線2311） 別海町ホームページ <http://betsukai.jp/>